

# 米国でコロナ感染鈍化の兆し

## ポイント① 新規感染者数が頭打ち

図1が示すように、米国では新型コロナウイルスの新規感染者数が4月上旬に一旦頭を打ちましたが、6月半ばから再び増大し、感染第二波の様相を呈してきました。しかし、足元で新規感染者数が再び頭を打っており、感染拡大が鈍化する兆しが見え始めています。

## ポイント② 景気の早期再加速は微妙

米国経済は感染抑制のために取られた経済活動の制限措置の影響で、4月頃まで急激に悪化しましたが、制限措置の緩和により5月から持ち直しています。ただ、感染第二波によって制限緩和を遅らせたり、再び制限を強化する動きが7月頃から各地で生じています。それを受けて図2が示すように足元で交通量の増大が鈍り、景気にも鈍化の懸念が生じています。

感染拡大は鈍化しつつあるものの、新規感染者の水準はまだ高く、死者が再び増加していることなどから、早期に制限措置が緩和されるかは微妙です。

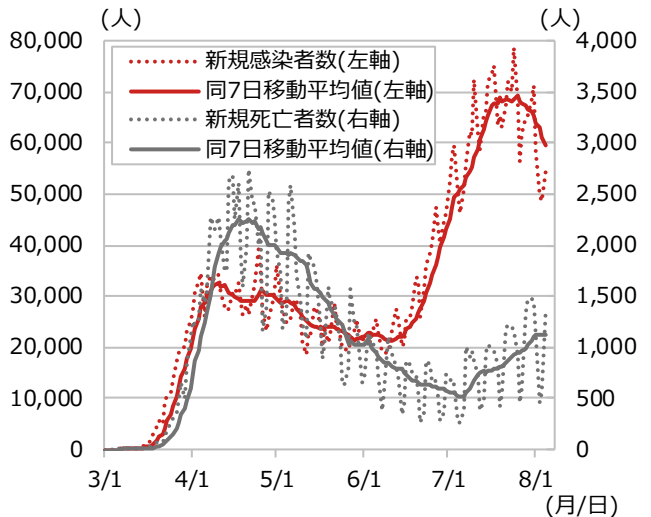
## ポイント③ 近づく大統領選

大統領選が近づいてきたことも、制限措置を緩和すべきかどうかの判断を難しくしています。トランプ政権としては、景気回復のためには制限緩和を進めたいところですが、それが感染第三波を招くことになれば、政治的には大きな失策となります。具体的な措置の判断は各州の知事にゆだね、早急な制限緩和を全国的には求めないのではないかと考えられます。

このため、感染拡大が鈍化し始めても、すぐには景気回復に弾みがつく情勢ではなさそうです。しかし、先行きに対する不安感が緩和されるという点では、株式などのリスク資産の価格をさらに押し上げる要因になる可能性はあるでしょう。

図1：米国の新規感染者と死亡者

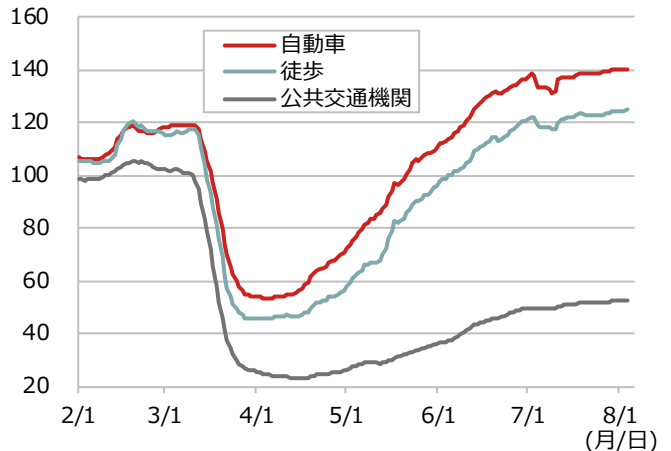
期間：2020年3月1日～2020年8月4日、日次



(出所) Worldometerサイト  
(<https://www.worldometers.info/coronavirus/country/us/>)  
より野村アセットマネジメント作成

図2：米国の交通量

期間：2020年2月1日～2020年8月3日、日次



(注) Appleマップの経路検索数に基づく交通量推定値。2020年1月13日＝100。7日移動平均値。

(出所) Apple Maps「Mobility Trends Reports」  
(<https://www.apple.com/covid19/mobility>)より野村アセットマネジメント作成

重要  
イベント

8月14日	米鉱工業生産指数、米小売売上高(7月)
8月17～20日	米民主党全国大会
8月27～28日	米ジャクソンホール会議

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。